

住民からの要望書2件を採択

「汚水流入防止に対する要望書」及び「藤江旅館の誘致に関する要望書」

(白川地区)

(第9駐在区)

汚水流入防止に対する要望書

近年、隣接する高森町からの白水の河川及び農業用水路又白川水源にも流入しているように思われます。
この原因は上部に存在する企業、住宅の排水によるものと思われま
す。また、新たに鶏肉処理場で日量5万匹が処理されるよう日量2,000
トン〜3,000トンの水が使われると聞いています。
また、企業として水を確保しても？
水田地帯の灌漑用水している農家としても大量の水が使われ地下水の
被害を受ける恐れがあります。
下流域には「名水白川水源」が有り白川部落、御手水部落の中を流れる
白川は阿部落の生活道路、通学道路になっていて汚水の被害を受ける
恐れがあります。
下流に住んでいる私たち住民として公害の出ないよう防止策を村で
対応して頂く様要望いたします。

平成22年7月16日

白川 区 長 桐原 直樹
両 併 区 長 後藤 誠
白川水源管理組合長 後藤 靖明
農地水環境保全向上対策事業代 山家 瑠
白川東水利組合長 後藤 晴雄
白川西水利組合長 後藤 健一

南阿蘇村村議会議長 興 梶 実 様

9月1日、役場久木野庁舎に於いて9月定例会に向けて
議会運営委員会が行われました。
当委員会には、本議会に提出する議案の他陳情書4件、
要望書2件についての協議が行われ、村民から提出されま
した2件の要望書について定例議会へ上程することが決定
されました。
9月17日開催された本議会最終日に、この2件の要望書
は採択され、白川地区から出された要望については、実態
調査を行い対応策について検討を行っています。

平成22年8月30日

南阿蘇村村長 長野 敏也 様

南阿蘇村議会議長 興 梶 実 様

第9駐在区区長 野田 敏信

株式会社 藤江旅館の誘致に関する要望書

平成17年2月に南阿蘇村が誕生して早や6年目を迎えていますが、
世界同時不況の波を受け、村の振興計画も思い通りには進まず、合併効
果も発揮できないままに歯がゆい思いをしている現状にあります。

また、9駐在区地域におきましても少子高齢化が進み農畜産物の生産
者も減り、併せて広大な原野等の管理もおぼつかない状況になっており
ます。

このような中、株式会社「藤江旅館」において当地域に旅館建設を計
画しているとお話を受け、地区民による総会も幾度となく開催しまし
た。そこで多くの意見が寄せられた結果、将来を見つめたとき、「地産
地消」・・・宿泊されるお客様方に地元で生産された新鮮で美味しい農
畜産物を提供できること、また「雇用確保」・・・長引く経済不況によ
る水河期を迎えている就職問題。その就業の場の確保が出来ることなど
が期待されるため、9駐在区は勿論、南阿蘇村にとっても主力産業である
農業・観光振興の活性化の観点からも非常に評価できるとの総意に至
りました。

つきましては、28,846平方メートルという広大な村有地ではあり
ますが南阿蘇村の発展を願い、是非とも株式会社「藤江旅館」による
旅館建設誘致について村を挙げて推進していただきますよう要望いた
しますので、どうぞよろしく願いいたします。



本議会で「藤江旅館」への土地売却が決定した俵山トンネル手前、駐車場北側の土地